

○議会活性化特別委員長（小川務君）

おはようございます。

去る 7 月 9 日および 7 月 30 日に議会活性化特別委員会を開催しましたので、その内容についてご報告申し上げます。

7 月 9 日に第 1 回の委員会を開催するにあたり、事前に全議員から議会活性化に関するテーマを募集しました。

大きく分けて 7 項目の提案がありました。議会 BCP の策定、タブレットの利活用の検討、議会基本条例の検討、議会の条例、規則等の見直し、町民とのコミュニケーションのあり方などの提案があり、優先順位を決めて順番に取り上げることとしました。

今後の進め方としては、災害がいつ起こるかわからないので、議会 BCP は早急に決めておく必要があるとの意見があり、まず議会 BCP の作成から進めることとした。

また、委員から議会の条例、規則等の見直しの件について、議員全員に意見を聞いてみてはどうかという意見がありました。

次回の委員会までに議会 BCP の資料を集めて、次回審議することとなりました。

7 月 30 日の第 2 回の委員会では、議会 BCP の策定に向けて、他市町の議会 BCP を参考にどのようなことを決めないといけないかの確認を行った。

災害時の安否確認の方法や連絡体制、情報収集、時系列による議員の行動フローなどについて協議を行いました。

離島であることから他の市町とは取り扱いが異なる部分もある、被災した方の意見を聞いて取り入れたらどうか、などの意見がありました。

今回は、たたき台の案を作成し、土庄町の特性に合った計画を詰めていくことになりました。

そのほか、議会の条例、規則等の見直しについて、まずは事務局から一覧をタブレットにアップしてもらって、全体の確認作業を行ってから協議する流れとなりました。

以上で議会活性化委員会の報告を終わります。